

速報版

令和3年5月28日

令和3年5月21日

やはぎがわ

前線による矢作川出水状況



矢作川の出水状況(5月21日17時頃) 米津水位観測所9.8k付近

国土交通省中部地方整備局

豊橋河川事務所

矢作ダム管理所

※本資料の数値等は、速報値及び推定値であるため今後の調査により変わる可能性があります。

○出水概要

梅雨前線により、矢作川流域において大雨となりました。

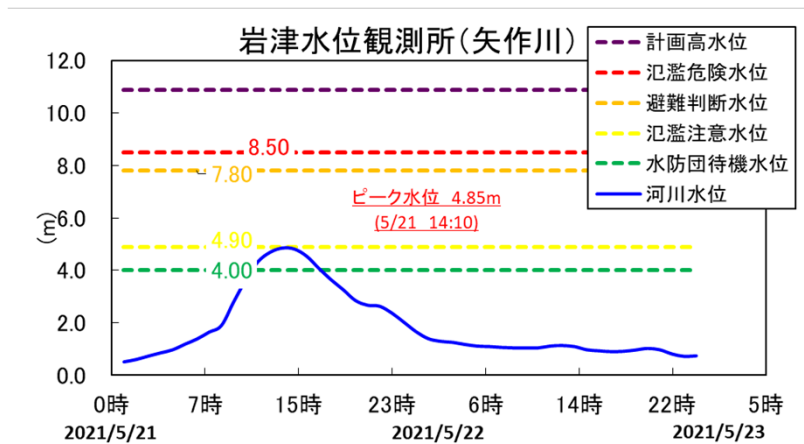
道慈雨量観測所(豊田市千洗町)では、21日7時から8時までの1時間に、約44mmを記録しました。また、槍ヶ入雨量観測所(恵那市上矢作町)では、5月21日24時までの累加雨量は165mmを記録しました。

また、岩津水位観測所においてピーク水位は4.85mを記録しました。

矢作ダムでは、最大流入量937m³/sを観測しましたが、下流へ流れる洪水の量を最大約100m³/s低減し河川の水位を低減させました。水位低減効果としては、阿摺ダム下流(河口より54.2kp)地点において、約0.3m、岩津地点において約0.1mの水位を低減したものと推測されます。

■河川の水位の状況

過去の洪水ピーク水位(岩津地点)
(平成元年以降)



順位	発生年月日	水位(m)	備考
1	H12.9.12	7.93	東海豪雨
2	H11.6.30	6.56	
3	H25.9.16	6.54	
4	H15.8.9	6.07	H15台風10号
5	H1.9.20	5.85	H1台風22号
6	H19.7.15	5.85	H19台風4号
7	H16.10.20	5.63	
8	H23.9.21	5.61	
9	H30.10.1	5.42	H30台風24号
10	H30.9.5	5.27	H30台風21号
:	:	:	:
	R3.5.21	4.85	

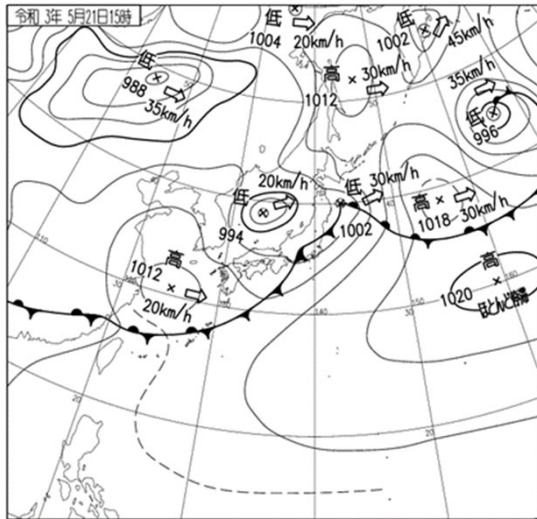
■矢作ダムの洪水調節



矢作ダムの
放流状況

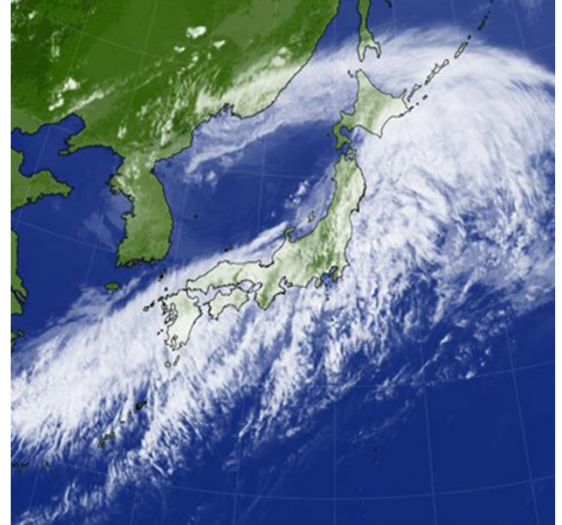
(5月21日8時頃)

気象状況図および雨量分布図(レーダー) (5月21日0時~5月22日3時)



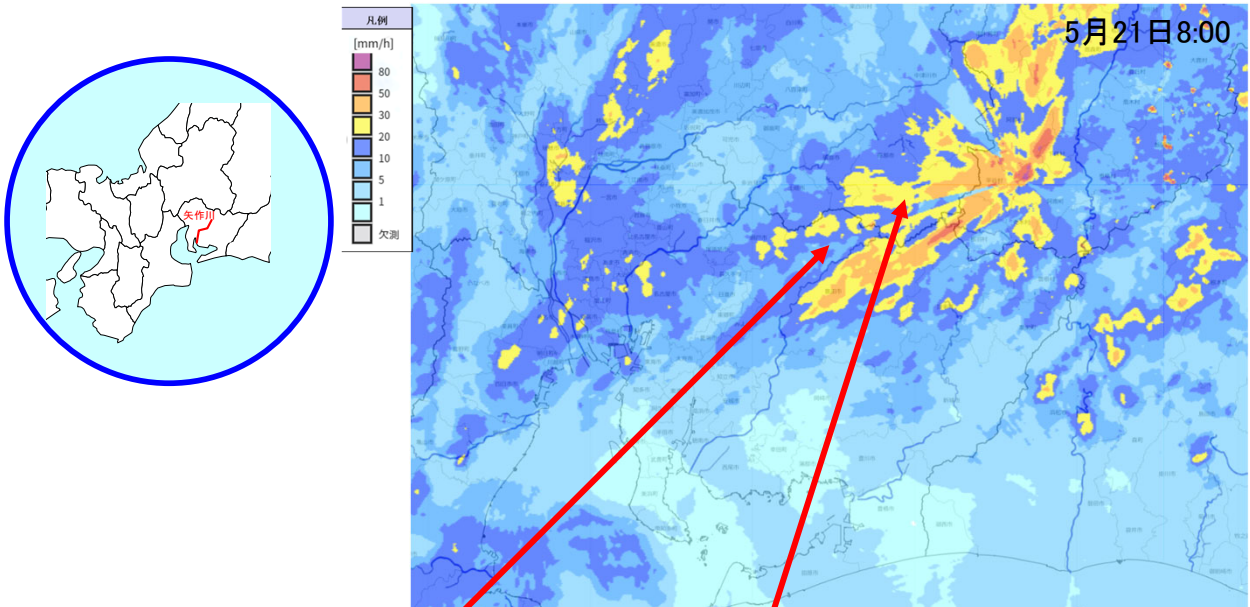
出典: 気象庁ウェブサイト

天気図(5月21日15時)

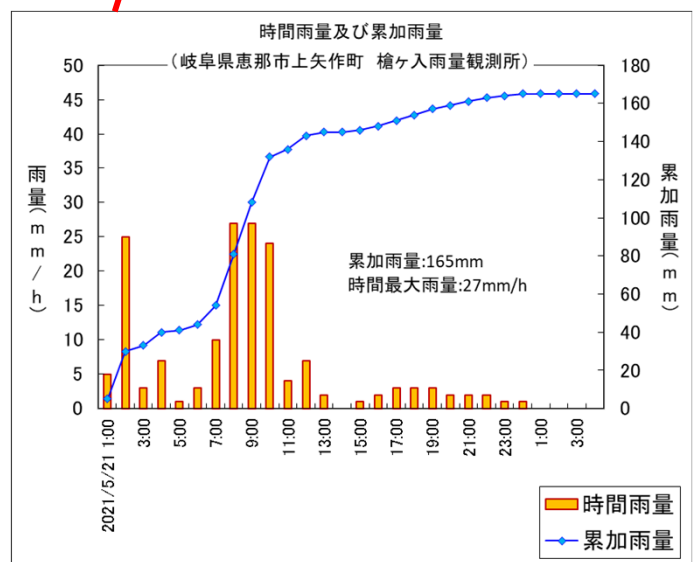
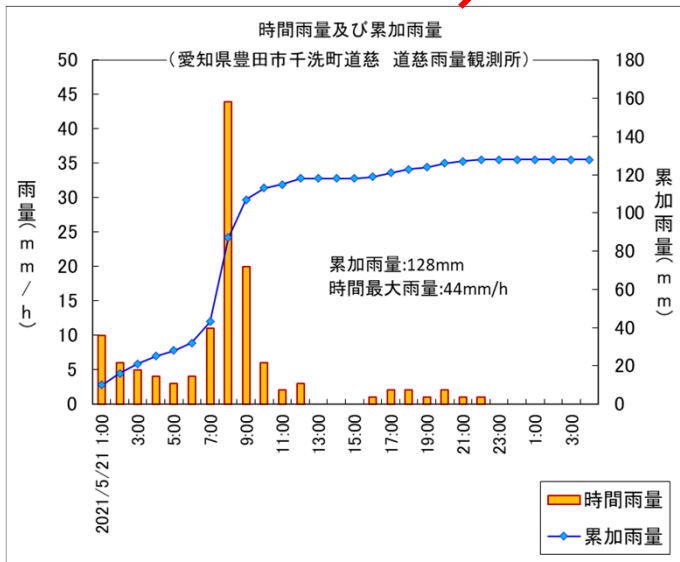


出典: 気象庁ウェブサイト

気象衛星(5月21日15時)



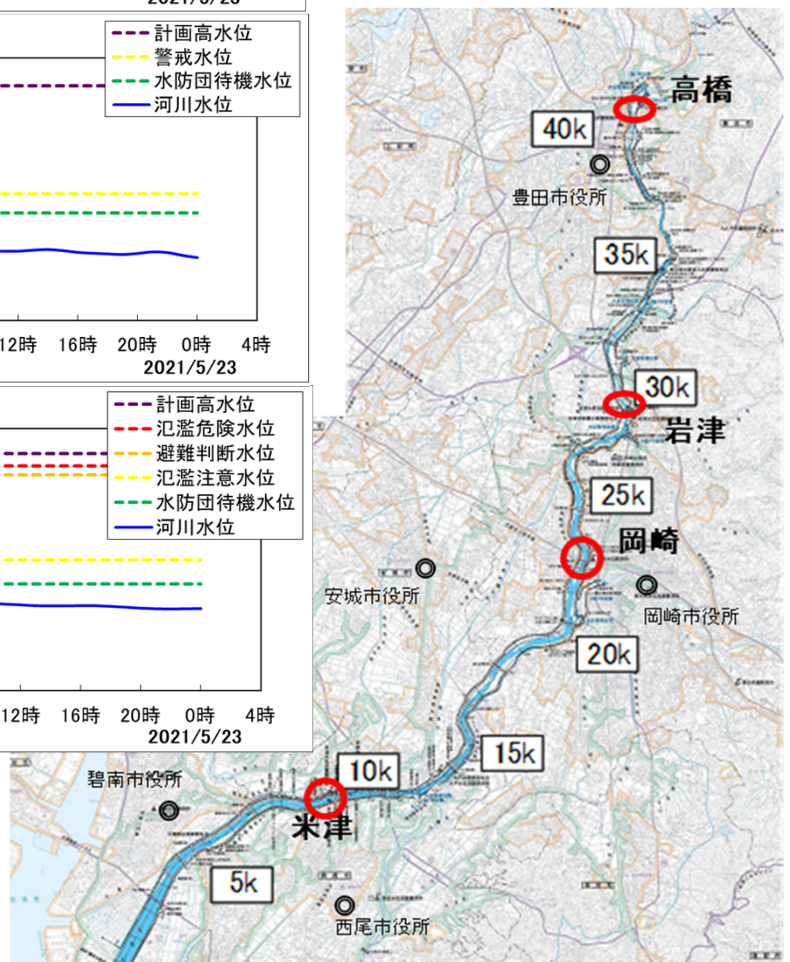
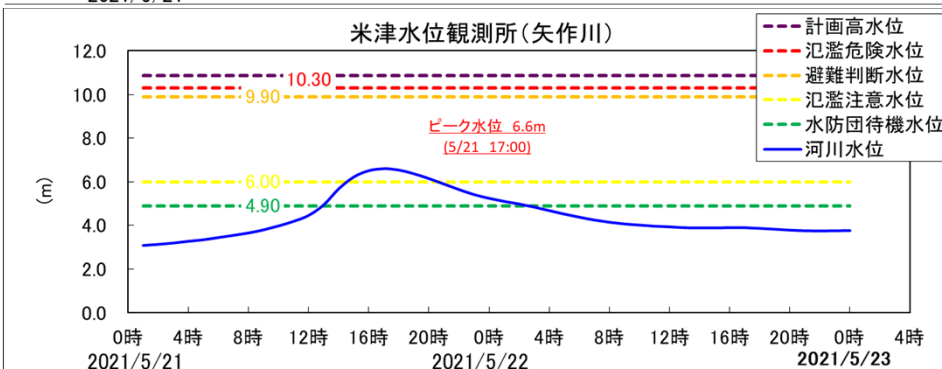
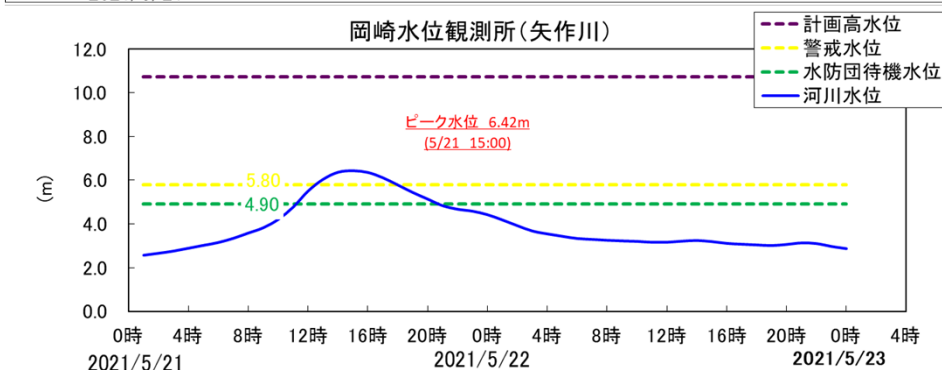
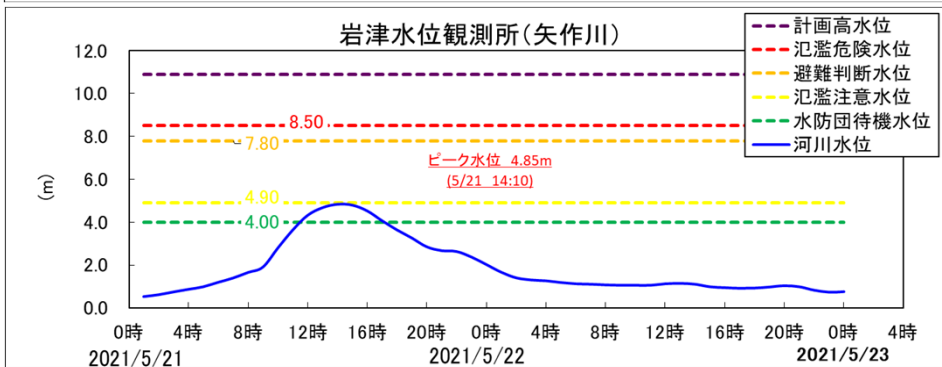
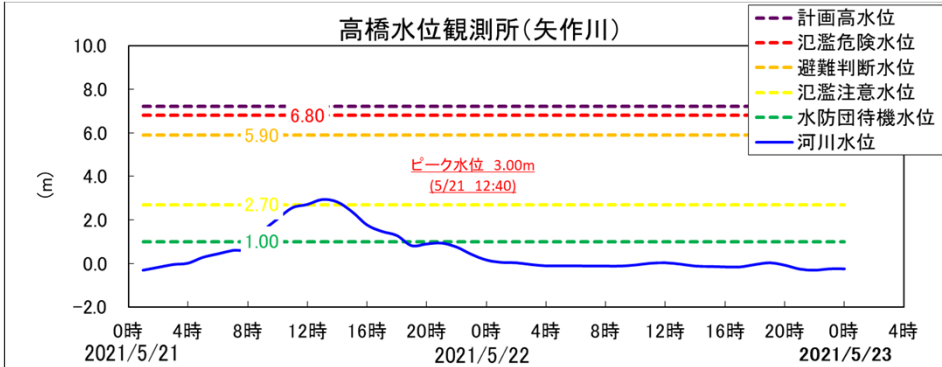
出典: 川の防災情報ホームページ



データの出典: 水文水質データベース

○矢作川出水状況

- ・高橋^{たかばし}水位観測所、米津^{よねづ}水位観測所では、氾濫注意水位を超過しました。
- ・岡崎^{おかざき}水位観測所では、警戒水位を超過しました。
- ・岩津^{いわづ}水位観測所では、水防団待機水位を超過しました。





○洪水予報、水防警報の発表状況

洪水予報の発表状況(豊橋河川事務所と名古屋地方気象台の共同発表)

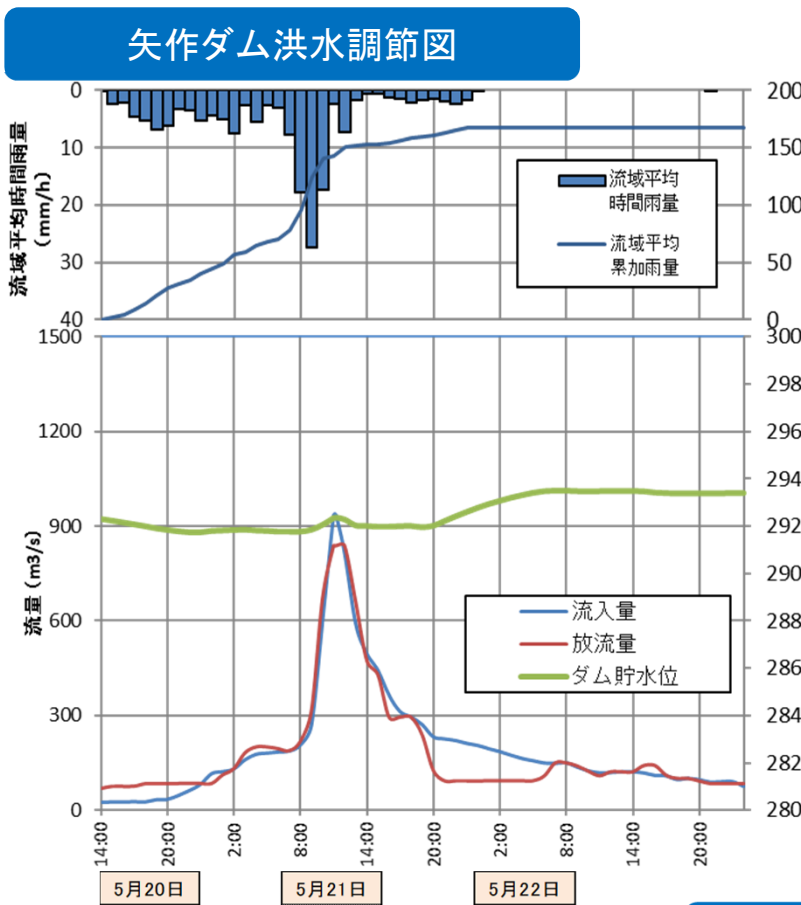
河川	基準観測所	号数	警報種別	発表日時
矢作川	高橋	1	氾濫注意	5月21日12:20
矢作川	米津	2	氾濫注意	5月21日15:10
矢作川	-	3	解除	5月21日20:50

水防警報発表状況

水系	河川	基準観測所	号数	警報種別	発表日時
矢作川水系	矢作川	高橋	1	準備	5月21日11:30
矢作川水系	矢作川	岡崎	1	準備	5月21日12:30
矢作川水系	矢作川	米津	1	準備	5月21日14:45
矢作川水系	矢作川	高橋	2	解除	5月21日15:00
矢作川水系	矢作川	岡崎	2	解除	5月21日18:10
矢作川水系	矢作川	米津	2	解除	5月21日20:45

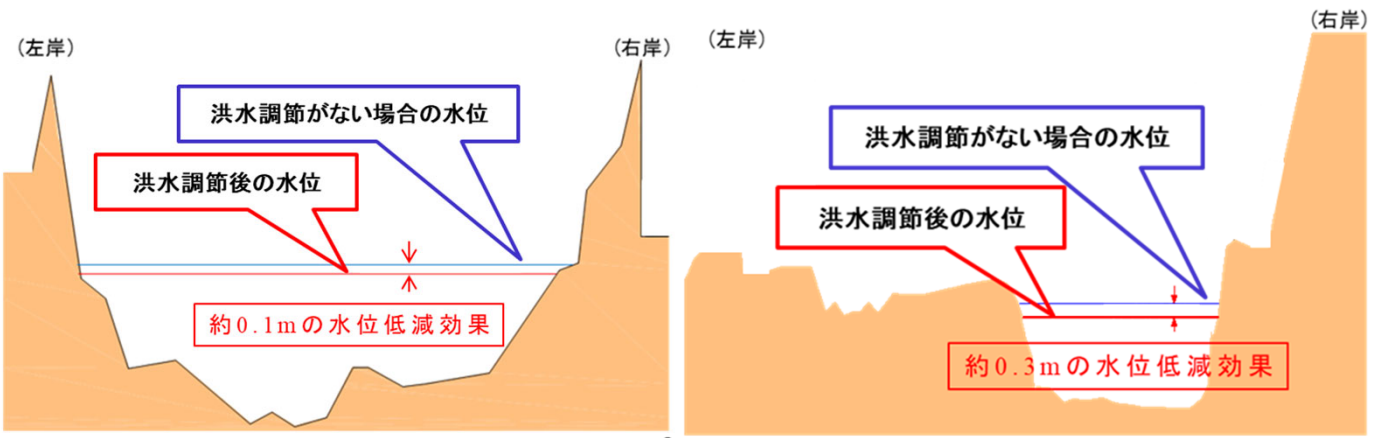
○矢作ダムの洪水調節効果

- 矢作ダムにおいて、5月に洪水調節を行うことは管理開始以来初めてのことであり、管理開始以来最も早かった昭和47年6月8日を49年ぶりに更新することとなりました。
- 梅雨前線の影響により、矢作ダム地点で最大流入量 $937\text{m}^3/\text{s}$ を観測しましたが、矢作ダムの防災操作によってダムに洪水を貯留したため、下流へ流れる洪水の量を最大約 $100\text{m}^3/\text{s}$ 低減することができました。
- よって、ダムがない場合と比較して、阿摺ダム下流(河口より54.2kp)地点において、約0.3mの水位低減効果、岩津地点において約0.1mの水位低減効果があったものと推測されます。
- 矢作ダムでは戦後最大洪水となった東海(恵南)豪雨と同程度の洪水が再来した場合でも効率的な洪水調節を行えるよう、引き続き河川改修・ダム整備・ダム再生事業を推進してまいります。



岩津(矢作川29.2kp地点)横断面図

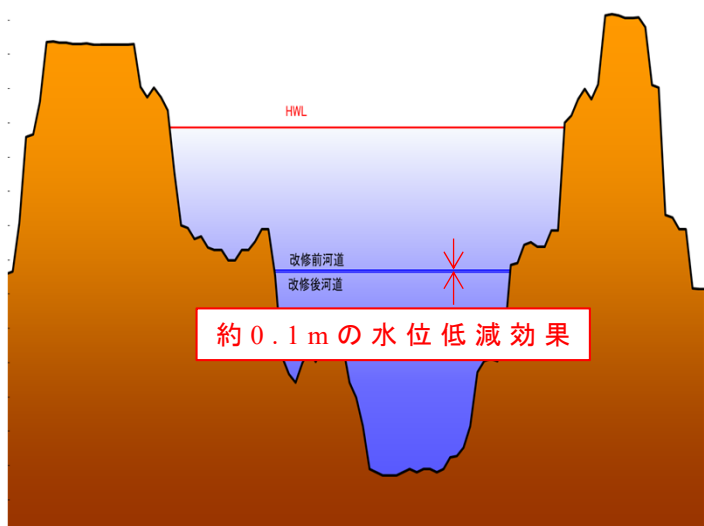
阿摺ダム下流(矢作川54.2kp地点)横断面図



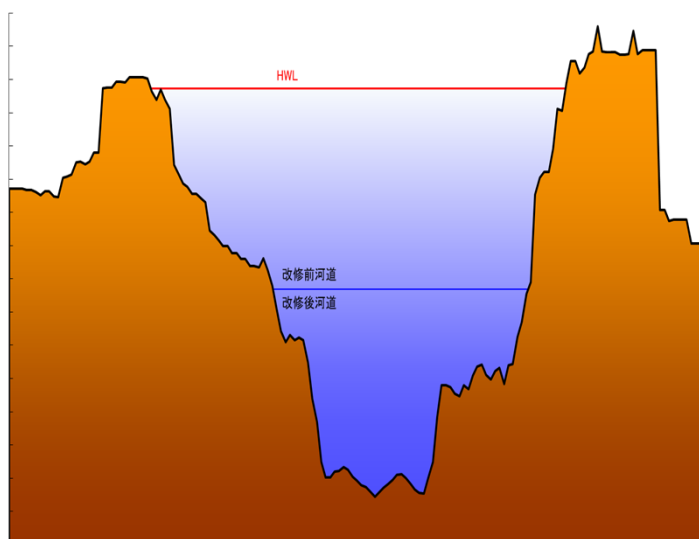
○矢作川の河川改修効果

- 平成30年度から令和2年度にかけて行った河道掘削や樹木伐採等の河川改修により、河道の水位低減効果が確認されました。
- 高橋水位観測所地点で**約0.1mの水位低減効果**、米津観測所地点では**約0.2mの水位低減効果**があったものと推測されます。
- 矢作川では、戦後最大洪水(平成12年9月洪水)と同程度の規模の洪水が発生しても安全に流下させることを目標として整備を進めています。
- 引き続き、中流部の河道掘削や堤防整備、鵜の首狭窄部の河道掘削等を推進してまいります。

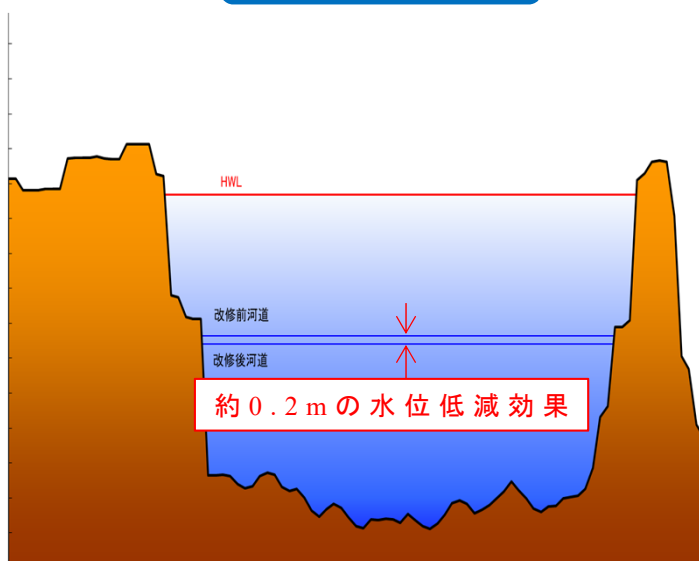
高橋地点



岩津地点



米津地点



○出水時の活動

- ・今回の出水にあたり、河川巡視等を実施しました。
そのほか、関係機関が情報共有・連携し、出水対応を実施しました。



国土交通省 中部地方整備局
豊橋河川事務所 調査課

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6

TEL 0532-48-8107

FAX 0532-48-8100

URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/index.html>

出典

気象庁ホームページ(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

川の防災情報ホームページ(<https://www.river.go.jp/index>)